

## 令和6年度 松本市性の多様性(小学校低学年)講座

### 性の多様性講座にあたり

性の多様性学習は「人権教育」です。これは周知のとおりですが、性的マイノリティを理解することだけでは「性の多様性」を認め合える学級集団（共生社会）を作ることができません。自分を「多様性」の中の一つとして位置づけ、自分自身を含む「性の多様性」を学ぶことが必要です。

そのために低学年では、性の多様性を学ぶ基盤として違いを認め合える学習を設定しました。違いを認め合えることが性の多様性を認め合うことにつながり、共生社会を作っていく基盤になるということです。

担任の先生方をはじめ学校の先生方には、人と違って良いこと、違いを認め合える学習が性の多様性の学びにつながる事を理解していただき、この講座をきっかけに日常の学校生活の中で児童の言葉を拾い、違いを認め合える集団を育てて欲しいと願います。日常とつながっていることが性の多様性の学習です。

（\*参照「性の多様性」を学ぶことの大切さ 渡辺大輔氏 埼玉大学基盤教育研究センター）

### 低学年「自分らしくていいんだよ」

\*参照 フレンテみえの絵本『みっちときりー』就学前施設・小学校での実践事例報告

#### はじめに

松本市性の多様性講座は今年で3年目を迎えます。

今回は絵本「みっちときりー」を教材に取り上げました。

絵本を通して、子どもたちの生活の中にまだまだあるであろう「女らしさ」「男らしさ」の固定観念やアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を崩し、偏った見方に縛られず「自分らしく」「その人らしく」いることの良さに気づいて欲しいと思います。

また、「自分らしさ」や「その人らしさ」には、いろいろな違いがあり、その違いがあるからこそ、様々な価値に気づくことができます。大事なことは一人の人間として大切にされることだと思います。

そして、いつも友だちと同じことをしなくても、いつも一緒にいなくても友だちになれることに気づき、お互いの好きなことを尊重しながら「なかま」としてつながる、そんな集団に育てて欲しいと願うものです。

#### 〔ねらい〕

○絵本の読み聞かせを通して、自分の好きなことや得意なことは性別に関係ないことがわかり、自分らしさの一部を学習カードに表現してみることができる。

○好きなものが違っていても、いつも一緒になくても、友達になれることを感じ取り、自分らしさやその人らしさを認め合うことを意識した感想発表や感想記入に取り組んでみようとする。

〔展開の流れ〕

児童の活動	内容・留意点	備考
<p>1 おにぎりの教材を通して外見や内面はひとりひとり違っていることを実感する。</p>	<p>○おにぎりは形や外見もいろいろある。            (△、○、□、のり有り無し、ふりかけなどなど)            同じような外見をしていても中身はいろいろ。            (鮭、梅、昆布、唐揚げ、混ぜご飯など々)</p> <p>○「おにぎりの具はいろいろあるし、好きな具もみんなちがうこともあるね。」            「そんな違いのある友達が出てくる絵本を紹介します。」</p>	<p>つかみの部分            ⇒扱うか否かは講師判断で。</p> <p>パワーポイント</p>
<p>2 みっちときりーの読み聞かせを聞き、講師の問いかけについて自分なりに考えてみる。</p>	<p>絵本『みっちときりー』の読み聞かせ  <b>○1～10 頁を読む(見開きで)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2頁目 絵本『～がまんしました。』</li> <li>・児童へ言葉を投げかけてみる。            「男の子なのにお花が好きなみっちは女の子みたいかな？変だとおもいますか？」など            みっちの気持ちについて思ったことを児童に考えさせる発問をする。</li> </ul> <p>*発言を求める場面では無理強いはしない。</p> <p><b>○11～12 頁を読む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本『おしまい』まで読む。</li> </ul>	<p>パワーポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の発言を促し数人の思いを聞いてみる</li> <li>・1年生から順次発言を求める</li> </ul>
<p>3 絵本の振り返りをする。</p>	<p>「みっちときりーについて振り返ってみましょう。」</p> <p>○「みっちときりー」が仲良しになれた経過を、二人の気持ちの変化を中心に振り返る。            「みっちはどんなことが好きだったかな？」            「きりーはどんなことが好きだったかな？」            「二人とも好きなものがちがったよね。」            「二人で好きなことを探したら二人の好きな遊びが見つかったね。」            「みっちときりー、二人が好きになった遊びは何かな？」            「自分の好きなことや大事にしていることをいっぱい話したら、似ているところもあったけどちが</p>	<p>パワーポイント</p>

<p>4 講師からまとめの言葉を聞く。</p>	<p>うところもたくさんみつかったね。」</p> <p>「おたがい違っていても大丈夫。違うっていうことも素敵なこと。それぞれの<u>らしさ</u>でいいんだ。」</p> <p>○絵本のあとがきを引用してまとめとする。 *好きなものはみんな違ってきますよね？好きな食べ物も、好きな遊びも、好きな色も、違って当たり前。みんな、自分が好きなものを選びたいし、好きなことをしたい。あなたは、あなたの思うままが一番。それが「あなたらしい」ってこと。</p> <p>○みんなちがってみんなだいじ</p>	<p>パワーポイント あとがきから 抜粋</p>
<p>5 ワーク（学習活動） 自分の好きなこと、大事にしていることをいっぱい書き出す。</p>	<p>『あとがき』を受けて、学習カードに自分の好きなものを表現する。 *自己表現の時間とする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 選択肢に○をつける(1 つでも 2 つでも 3 つでもよい)「すきな( )」は( )に言葉を書き入れる</li> <li>• 言葉で書いてもイラストで描いてもよい。</li> <li>• 模様や色で表現してもよい。</li> </ul> <p>*取り組めない児童に対しては、これから自分の好きなことや大事にしていることを見つけていけば良いことを伝える。</p>	<p>ワークシート ・講師が記入した記入例を例示しても良い</p>

※準備品

- 学習カード（児童の人数分印刷・配布）
- 筆記用具
- 色塗りができるもの（クーピー、クレヨンなど）
- 探検バッグ

（教室以外で行う場合、上記の持ち物を探検バッグに入れて講座に参加するようにします。）

しょうがっこう  
小学校

# 「<sup>じぶん</sup>自分らしくていいんだよ」

ねん  
年

くみ  
組

なまえ  
名前

☆<sup>じぶん</sup>自分の好きなもの、好きなこと、だいじにしていることをかきましょう。

好きなたべもの      好きなあそび      好きな（      ）



\*<sup>おも</sup>思ったことや<sup>かん</sup>感じたこと、もっと<sup>し</sup>知りたいことなどをかきましょう。

---

---

---

## 令和6年度 松本市性の多様性(小学校高学年)講座

### 性の多様性講座にあたり

性の多様性学習は「人権教育」です。これは周知のとおりですが、性的マイノリティを理解することだけでは「性の多様性」を認め合える学級集団（共生社会）を作ることができません。自分を「多様性」の中の一つとして位置づけ、自分自身を含む「性の多様性」を学ぶことが必要です。

そのために高学年では違いを認め合えると共に、複数の性のとらえ方とその多様性を理解し、多様な中にある自分を知り「自分らしさ」を自覚するきっかけとなるような授業展開を考えました。

この講座をきっかけに性別二元論（性別は男女だけ）、異性愛主義から抜け出し日常生活の中で違いを認め合え、個性を大切にできる集団を目指してほしいと願っています。

担任の先生方をはじめ学校の先生方には、人と違っていいこと、違いを認め合える学習が性の多様性の学びにつながる事を理解していただき、この講座をきっかけに日常の学校生活の中で児童の言葉を拾い、違いを認め合える集団を育てていって欲しいと願います。日常とつながっていることが性の多様性の学習です。

（\*参照「性の多様性」を学ぶことの大切さ 渡辺大輔氏 埼玉大学基盤教育研究センター）

## 令和6年度 松本市性の多様性講座 高学年

「自分らしくていいんだよ」

～人の数だけ性はある～

ねらい

○絵本の読み聞かせを通して、性別は男女のみという思い込みから抜け出し、複数の性のとらえ方ができるようになる。

○自分が多様な性を構成する一員であることに気づき、おたがいの存在や性を大切にできる。

○自己紹介カードの作成を通して、自分らしさの一部を表現することができる。

### 展開の概要

児童の活動	内容・留意点	備考
1 性は見た目ではわからないことに気付く	○柴犬の写真 犬の性別クイズ 「この子犬は、オスでしょうか？メスでしょうか？」	柴犬の写真のスライド
2 講師の説明を聞き、性のとらえ方の4つの要素を知る。	○絵本「みんなすっごくいいね」を使い、性のとらえ方の4つの要素を説明する。	絵本の内容の説明

<p>3 絵本『じぶんをいきるためのるーる』いっぽさんの自分を生きるためのるーるを知る。</p> <p>4 講師の話聞き、性は人それぞれであることがわかる。</p> <p>5 講師の話参考に自分らしさを意識した「自己紹介カード」作成に取り組む</p>	<p>性自認（こころの性）  性的指向（好きになる相手の性）  性表現（表現する性）  生まれたときにわりあてられた性別（体の性）  ・全ての人に関わる自分事であること</p> <p>○作者：ながえはるきさんからのメッセージ  「みんなちがっていいんだよ。  自分らしくていいんだよ。」</p> <p>○絵本「じぶんをいきるためのるーる」『あとがき』まで読む</p> <p>○自分らしさに関わる自分体験を話すことで、性は人それぞれであり、違っていいことを伝える。  知り得ている性的マイノリティの生きづらさを伝えることで、違いを認め合うことの大切さやこれからの社会に向けての課題を伝えたい。</p> <p>○自己紹介カードに記入する  ・プロフ作成のような形で楽しみながらワークを作成し、自分らしさを見つめる時間及びその表現の時間とする。  ・全項目埋めなくてもよいこと、書きたい項目だけ書いてもよいこと、うまく書けなくてもこれから自分らしさを見つけていけばよいことを伝える。</p>	<p>スライドで説明</p> <p>パワーポイント</p> <p>読み聞かせ</p> <p>ワークシート</p>
---	--	--

※準備品

- 学習カード（児童の人数分印刷・配布）
- 筆記用具
- 色塗りができるもの（クーピー、クレヨンなど）
- 探検バッグ

（教室以外で行う場合、上記の持ち物を探検バッグに入れて講座に参加するようにします。）

小学校 「自分らしくていいんだよ」

年 組 名前

☆自分らしさの自己しょうかいカードを作しましょう。

わたしの自分らしい名前(呼ばれたい名前・ニックネーム)は

です。

楽しい・とくいなこと

好きな科目

マイブーム

しょう来のゆめ

たん生日

クラスみんなに一言

好きなものを  
しょうかい

\*思ったことおもや感かんじたこと、もっと知しりたいことなどをかきましょう。

---

---

---

---

## テーマ「自分らしく生きる ～人の数だけ性がある～」

### 【はじめに】

なぜ「性の多様性」を学ぶのでしょうか。以下の3点に整理してみました。

- 1 性のあり方は多様であり、一人ひとりが多様な性の一員であることを自覚し、自分事として性を捉えることができる。
- 2 自分の性のあり方を男女の性の枠組みだけで捉えるのではなく、自分らしさとして理解し、自分や他の人の性のあり方や違いを認め合うことができる。
- 3 性的マイノリティの生きづらさを理解し、性別二元論、異性愛規範から脱却し、共生社会の実現に向け一人ひとりにできることを主体的に考え、日常生活の具体的場面で行動を起こすことができる。

「性の多様性の学習」というと、性的マイノリティについて理解を深めることだけが学習の目的と捉える教職員が少なからずいます。「性の多様性」とは性的マイノリティだけの話という狭い捉えではなく、私たち一人ひとりが多様な性を構成する一員という自分事の捉えと自覚が大切になります。

その上で、「性別二元論・異性愛規範」から抜け出すと、日常生活の中にある様々な思い込みや偏見に気づくことができ、性的マイノリティの生きづらさもより鮮明に見えてくるでしょう。そこからどのような性であっても安心して暮らせる共生社会をどう作っていくのか、深い洞察も生まれることでしょう。

これからの社会を作っていく中学生にこうした願いを持って、この1時間の講座を設定しました。

### 【ねらい】

- 1 性の4つの見方やSOGIE(ソジー)の説明、性的マイノリティを取材した動画の視聴を通して、性は多様であることを知り、多様な性や性的マイノリティの課題を自分事として捉えることができる。
- 2 ジェンダーニュートラルな表現の一部を考えることを通して、性別二元論・異性愛規範から抜け出し、日常生活の中にある思い込みや偏見に気づき、自他の人権を意識した行動がとれるようになる。

### 【展開の概要】

学習活動	進め方の詳細・留意点及びサポート	資料・教材等
<b>【導入】</b> 1 アンコンシャスバイアスに関する動画の視聴 (自分の中にある無意識の思い込みに気づく)	○ ACジャパンの「聞こえてきた声」を視聴 ・自分の中にあるアンコンシャスバイアスに意識を向ける。 ・本講座が「性別に対する思い込み」を解きほぐす講座になるよう願っていることを伝える。 ・動画をもう一度視聴し、一回目に視聴した性別と入れ替えてもどちらに聞こえてもいいことを伝える。	動画 『聞こえてきた声』

<p>【展開】</p> <p>2 性を考える4つの見方を学ぶ。</p>	<p>○ 4つの要素について、それぞれが男女で分けられるものではなく、多様であることを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性はみんなに関わることで自分事。</li> <li>・今、自分はどんな性なのか、自分の性を振り返ってみよう。それは自分らしさでもある。</li> </ul>	<p>パワーポイント</p>
<p>3 性の多様性を表している言葉「SOGIE」を知る。</p>	<p>○ SOGIE(ソジー)の語句を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・性は男女だけでなく多様</li> <li>・好きになる相手の性は異性だけでなく多様</li> <li>・好きにならない性もある。</li> <li>・3つの要素の頭文字をとって SOGIE という</li> <li>・心の性と体の性が違う人もいる、からだの性を除いた SOGIE</li> <li>・SOGI(ソジ)ハラは人権侵害</li> </ul>	<p>パワーポイント</p>
<p>4 セクシュアリティの理解を深める。</p>	<p>○ いろいろな性の1つ LGBTQ を説明する。 (・ヘテロセクシュアル・シスジェンダーなどを含めて説明する。)</p> <p>○ 性的マイノリティの当事者の声を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を2本視聴する。</li> <li>・カミングアウト、アウティング、アライについて説明する。</li> </ul> <p>○アライの大切さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アライが増える⇒皆が過ごしやすい社会になる。</li> </ul>	<p>パワーポイント</p> <p>動画 『バスケ少年の秘密』 『レインボーな僕～高校生のカミングアウト～』</p>
<p>5 ・性的マイノリティの生きづらさを踏まえ、性の多様性を意識したジェンダーニュートラルな言葉(や、環境)について考える。</p>	<p>○ 言葉の言い換えを考える (○変わっていけばいいなあと思うことについて、考える。)</p>	<p>ワーク 『みんなで考えてみよう』</p> <p>パワーポイント</p>

<p><b>【まとめ】</b></p> <p>6 これからの課題について 考えを深める。</p>	<p>○自分の性を見つめてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成長とともに変化していくこともある。</li> <li>・変化しないこともある。</li> <li>・困ったとき、悩みは相談してもいい。</li> </ul> <p>○自分の性、他の人の性を認められる人になろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを認め合う＝人権意識(人権尊重)</li> </ul> <p>○日常生活の中で性の多様性を意識していこう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違いを認め合える社会＝共生社会 (平和な社会)</li> </ul> <p>○各クラスに戻り感想を書いてもらう</p>	<p>パワー ポイント</p>
--	--	---------------------

小学校 「自分らしくていいんだよ」

年 組 名前

☆自分らしさの自己しょうかいカードを作しましょう。

にがお絵

じこしょうかい  
カード

わたしの自分らしい名前  
(ニックネーム) は

です!

好きな遊び

とくいなこと・しゅみ

好きな科目

マイブーム

しょうらい  
のゆめ

みんなにひとこと

\*思ったことや感じたこと、もっと知りたいことなどをかきましょう。

---

---

---

---